

「華族」を通して「近代」を知る

— その醍醐味と調べ方 —

明治2(1869)年6月、日本に誕生した貴族身分「華族」。高校日本史の教科書でも必ず取り上げられますが、その形成には幾多の紆余曲折がありました。

今回の関西館ライブラリーカフェでは、華族が歴史上一体どのようなものであったか、華族研究の現状と今後の展望、そして図書館で華族について調べる方法をご紹介します。

令和5年3月15日(水)

14:00～16:00

・ 14:00～15:20

話題提供の部 講師 松田敬之さん
(花園大学文学部教授)

・ 15:30～16:00

情報交換の部 質疑応答・懇談・資料紹介

定員 30名(先着順、参加無料)

開催方法 オンライン(Cisco Webex Meetingsを使用)

※接続環境(PCまたはスマートフォンおよびインターネット環境)はご自身でご準備ください。また、Webexの利用に当たってのサポート等の個別対応は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

申込方法 <k-events@ndl.go.jp> に参加をご希望の方の

「お名前」「ご連絡先メールアドレス」をお送りください。
後日、メールで当日の参加方法をご案内します。

申込締切 令和5年3月9日(木)

“次を開く一冊”に出会う

「関西館ライブラリーカフェ」とは？



特定のテーマについて
専門家が話題提供



話題提供者（専門家）
と参加者が、自由な
雰囲気です



関西館の蔵書から
テーマに関連する
資料を紹介

まつだ たかゆき
講師 松田 敬之 さん

プロフィール

市立北九州大学(現：北九州市立大学)法学部を卒業後、財団法人冷泉家時雨亭文庫調査員、京都産業大学日本文化研究所客員研究員などを経て、現在は花園大学文学部教授、国際日本文化研究センター共同研究員。著書に『〈華族爵位〉 請願人名辞典』（吉川弘文館、2015）、『次男坊たちの江戸時代—公家社会の〈厄介者〉—』（吉川弘文館、2008）など。



講師から

華族は明治2（1869）年6月に誕生した近代日本における貴族身分です。しかしこの「身分」は簡単に定まったわけではなく、紆余曲折を経て形成されていきました。今回は、華族が歴史上一体どのようなものであったのか、「華族になりたい」と必死に運動をした人を集めた拙著『〈華族爵位〉 請願人名辞典』の内容を中心に、当時の世相等も交えながらお話しします。また学界におけるこの分野の研究の現状と今後の展望について、そして国立国会図書館をはじめとする皆さんの身近な図書館で、華族についてどのようにして調べることができるのか、といった様々なツールについてもご紹介できればと思います。

「関西館ライブラリーカフェ」を含む関西館の各種イベントや資料展示の情報は、国立国会図書館ホームページで随時発信しています。



使用画像：教訓善悪図解 謹直の華族、放蕩なる華族（足立区立郷土博物館収蔵資料データベース） 錦町華族学校学習院開業式図、鹿鳴館、隅田川花の遊覧（東京都立図書館デジタルアーカイブ） 帝国議会議事堂之図、内国勲業博覧会開場御式の図（国立国会図書館デジタルコレクション）

 国立国会図書館

〒619-0287

京都府相楽郡精華町精華台8-1-3
国立国会図書館関西館 文献提供課
0774-98-1341（資料案内）